

# 令和元年度 社会福祉法人よしだ福社会 事業報告

## 令和元年度事業報告（総括）

基本理念、基本原則に基づきながら、ご利用者やご家族、そして地域の皆様が、よしだ福社会のサービスにご満足頂けるよう、その役割を認識し、役職員一丸となって法人経営に取り組みます。

各サービスの実施においては、各加算等の解釈を全体で共有しながら、利用者の満足とサービスの質の向上が図れるようコンプライアンスの推進を行うとともに、職員全体の処遇改善を図っていきます。

各サービスの実施においては、サービスの質の向上を図りながら今年度も順調に運営することができました。来年度に向けて次世代に繋がる人事異動を実施し、人材育成をさらに進めながら組織強化を図っていく予定です。

年度末からは新型コロナウイルス感染症対策が喫緊の課題となり、法人全体で「新型コロナウイルス感染症対策委員会」を設置し、事業所全体でこの課題に立ち向かっています。私たちの職務は利用者の皆様の命や生活を護るものです。大変な状況ではありますが、使命感をもってサービス提供をできるだけ継続していきたいと考えます。利用者の皆様をはじめ、ご家族の皆様、医療福祉関係機関の皆様、地域の皆様のご協力を賜りながら、蔓延防止に努めていく所存ですので、ご理解とご協力をお願いします。

## <令和元年度基本方針>

### 1. 法人創立 25 周年記念事業

よしだ福社会創立 25 周年記念事業を秋季に行う。

創立 25 周年記念式典は、11 月 2 日ケアポートよしだを会場に日本財団尾形理事長、雲南市速水市長など 60 名の方に御臨席いただき盛大に開催いたしました。

多くの方から祝意をいただき職員一同、地域に必要なとされる施設として一層の努力をしていく決意を新たにしたところです。

### 2. 介護保険サービス等に関する事業

コンプライアンスの確立と質の向上を図ると共に、地域との連携を深める。

今年度は、地域密着型通所介護、住宅型有料老人ホーム瑞光の实地指導がありました。両事業所とも大きな指摘事項はありませんでした。来年度はとちのみ、訪問介護事業所の实地指導が予定されており引き続きコンプライアンスの確立、質の向上に努めていきます。

地域の行事に参加したり、また、避難訓練には地域の方にも参加いただき、一緒に火災時の避難について考えることができました。災害時には地域の方の協力が必要不可欠です。

今後も連携を深めていき、『いざ』というときに助け合えるようにしていきます。

### 3. 魅力ある職場づくり事業

職員の満足度の向上、職場の活性化、雇用促進に向け、介護職員初任者研修事業や職員目標管理制度、エルダーシップの推進を進めると共に、次世代を担える人材育成を計画的に進める。

今年度はキャリアアップ研修受講後、新たに 4 部署に主任を配置いたしました。また、その主任たちがリーダーを育成するというキャリアアップの仕組みをさらに整え実践しました。

職員目標管理、エルダーシップの推進は、係長、主任が中心となり取り組み、魅力ある職場づくりの核となるとともに、その結果は職員の定着へとつながっています。

また、働きながら学び、資格を得る介護職員初任者研修（旧 2 級ヘルプ）事業は 6 年目となり、その内容と実績から、来年度は市から補助金がつくことになりました。

人材を人財と考え、その育成を平成 26 年度より強化してきましたが、ようやく形になってきました。

#### 4. 地域貢献事業

地域福祉を増進すべく、社会福祉法人の地域における社会貢献事業を積極的に推進していく。

今年度は雲南市社会福祉法人連絡会の活動として「うんなん福祉・安全サポーター」を名称に、地域公益活動の一環として雲南市・雲南警察署と連携を図った防犯活動をスタートいたしました。

引き続き行っている「身近でなんでも相談窓口ネットワーク」と併せて、今後も地域貢献事業に取り組んでいきます。

#### 5. 経営改善に関する事業

安定した収支状況に向かえるよう経営改善策を講じるとともに、持続可能な法人経営に取り組む。

社会福祉法人は、法人の経営理念や中長期的な事業計画等に基づいた経営を行っていくことが求められています。収支については、改善傾向にあるものの中長期的事業計画等を基本とした取り組みが重要であり、今後その充実を図っていくことが課題となっています。

